

#### ④資料リスト

構成	現状に関わる資料として求められているもの（91項目） ○済/△一部済/●確認（未保管）	収集 状況
<b>10 関連事例</b>		
1	改正された都市公園法の趣旨と内容	○
2	国交省の都市公園に関する指針「新たなステージに向けた緑とオープンスペース政策の展開について」	○
3	公園緑地等のあり方を記した国等の考え方（潮流）	
4	最近の都市緑化の動向（渋谷川の復活、清溪川（ソウル）、シアトル、大手の森など、不動産価値を高めるために緑を活用している事例）	
5	千代田区イチョウ並木伐採への反対運動	
<b>11 川の記憶を辿る</b>		
1	仙台堀川公園の歴史	○
2	開削の歴史・川の記憶整理（砂町運河の歴史の継承：現状モニュメント的なものはあるのか？川であった土地の記憶を継承するために大切であると考えられること	○
<b>12 緑被率</b>		
1	緑被率（江東区の23区での順位、各地区ごとと砂町地区、それぞれの推移・目標・達成度・一人当たりの数値）	○
<b>13 公園の量</b>		
1	江東区の公園面積増減、城東南部地区の公園面積増減	○
<b>14 仙台堀川公園の価値</b>		
1	仙台堀川公園の価値（具体的な数値で表すことができるものほど良い）に関する資料	？
<b>15 現況水路の状況</b>		
1	現在の水路の状態（良いところ、悪いところ、管理作業内容）	×
<b>16 利用状況や意向の把握</b>		
1	利用調査、地域の意向調査	△
<b>17 生きものの基本データ</b>		
1	生物調査の基本データ	○
<b>18 現場の課題問題点</b>		
1	仙台堀川公園の問題点課題	○
2	現在の公園が抱えている整備維持管理上の問題点	○
<b>19 事業決定の流れ</b>		
1	なぜ、今の時期に公園整備をするのか？	○
2	事業決定に関する仕組みに関する資料	
<b>20 公園全体の改修計画</b>		
1	仙台堀川公園全部の改修計画11	未定
<b>21 反対意見の状況</b>		
1	署名、反対意見に関する資料	
<b>22 工事による影響把握</b>		
1	工事影響に関する資料	なし
<b>23 事業費（想定）の確認</b>		
1	総事業費の合計	○
2	これまでの事業に費やした費用（詳細）	○
3	今後の事業に関わる明細	×
4	維持管理に係る想定費用（明細）	×
5	汚染土壌の対策費	×
6	現状維持や整備計画とは異なる手法を取った場合のコスト比較に関する費用	×
<b>24 専門体制</b>		
1	計画策定の専門体制（技術者・識者はいるか）	
2	作図担当者はランドスケープアーキテクチャか？（江東区側の仕様・条件、大日本の担当者）	
3	設計の専門体制（技術者・識者はいるか）	
4	施工の専門体制（技術者・識者はいるか）	×
<b>25 計画に関わる情報</b>		
1	整備計画に関わる基礎情報	
2	どのような調査を行ってきたかの資料	○

構成	現状に関わる資料として求められているもの（91項目） ○済/△一部済/●確認（未保管）	収集状況
<b>26 計画時の比較検討情報</b>		
1	整備計画を決定する為に必要な比較資料（メリットデメリット、価値課題）各々が選択しやすい比較案	○
<b>27 実施予算</b>		
1	これまでに費やした計画策定および整備の予算（経費）	○
<b>28 工事想定</b>		
1	工事計画（現状）時期別 道 公園開園まで	○
<b>29 対象地域</b>		
1	公園利用者地域（説明会が行われた対象地域）	○
2	公園利用者地域の人口構成（年齢、性別等）	○
<b>30 合意形成に向けての事業姿勢</b>		
1	合意形成のために取ってきた方法	○
2	どのように事業の共有を進めてきたかの資料	○
<b>31 説明会の実施概要</b>		
1	説明会2回の議事録	○
2	説明会参加者の人数と属性情報（年齢、性別等）	個人情報
3	説明会で意見を述べた方の属性情報（年齢、性別等）	個人情報
<b>32 意見交換会の想定</b>		
1	意見交換会の目的および目標設定	
<b>33 利用者観点からの検討</b>		
1	計画の利用者目線からの検討経緯	●
<b>34 子どもの利用実態</b>		
1	個人的な利用調査は必須	
2	ヒアリング、学校、幼稚園、保育園、各種団体等での利用。	
<b>35 子どもの着想把握</b>		
1	「こんな公園あったらいいなコンクール」毎日新聞1	
<b>2 安心安全</b>		
<b>1 現況各所の課題</b>		
1	問題箇所の抽出情報（区全体と計画地、バス通り、通学路なのにガードレールがない所、八幡通りなど）	
2	問題箇所と問題点をまとめた資料	
3	現在の公園周縁道路が抱えている道路の問題点	
<b>2 事故の実態把握</b>		
1	事故統計（整備対象部分、仙台堀公園全域、区全域、都、国）	
2	交通量の資料（整備対象部分、仙台堀公園全域、区全域、都、国）	
3	自転車の事故件数（公園内と道路との比較）	
<b>3 区の安全姿勢</b>		
1	「安心安全」のために大切なものは何かの考え方の資料	
<b>4 道路と公園一体の考え方</b>		
1	公園と道路を一体整備することになった経緯と理由に関する資料	×
2	一体化のメリット、デメリットに関する考察資料	×
3	安全性の向上と、公園機能の維持向上を両立できない点の整理	
4	公園面積を現状維持する場合の道路整備計画はいかなるものになるのか？	
<b>5 通行の実態</b>		
1	どういった人たちがどこを歩行しているかデータ（学生、サラリーマン、親子など）	
<b>6 バリアの現況</b>		
1	歩道が狭い現況データ	
<b>7 バリアフリーの指針と計画</b>		
1	ユニバーサルデザインについての資料	
2	バリアフリー計画（ガイドラインとの照合）	
<b>8 高齢者への対応</b>		
1	江東区の高齢者に対する交通計画	

構成	現状に関わる資料として求められているもの（91項目） ○済/△一部済/●確認（未保管）	収集状況
<b>9 自転車レーンの実情</b>		
1	自転車専用道路がない現況データ	
<b>10 現況の自転車通行量</b>		
1	現況の公園内の通行量（歩行者、自転車）	○
2	交通量の将来想定データ	
<b>11 自転車に関する苦情・事項データ</b>		
1	自転車に関する苦情、陳情、件数、内容	
2	仙台堀川公園 自転車接触事故件数 年度毎、内容、場所11	
3	仙台堀川公園両側道路 自転車接触事故件数 年度毎、内容、場所11	
<b>12 法令等における自転車レーンの規定</b>		
1	道路構造令で自転車レーンの記述がなくなった理由	
2	道路交通法における自動車走行の考え方の変化（改正時に自転車はどこを通るべきとなったか？）	
<b>13 江東区の自転車通行の考え方</b>		
1	区の自転車ネットワークの考え方に関する資料	○
2	今まで公園内の道に人と自転車のレーン分けをしなかった理由	
3	園内の自転車走行を取り入れる仙台堀川の東西軸と同じ方針をとらない理由	
4	清洲橋通り、区道江102号（旧松本橋）、117号線で立体交差を導入する可能性の検討データ19	
5	自動車にのれないコンパクトシティの考え方	
6	自転車レーンの設置基準	
<b>14 車両の保有台数</b>		
1	車両保有台数（一人当たり、一戸当たり）	
2	自動車保有台数の推移（江東区全域、城東南部地域）	
<b>15 自動車の利用者</b>		
1	自動車利用者数（公園近接住民）	
<b>16 現況の道路状況</b>		
1	車線道路としての車道幅が狭い現況	
2	すれ違い出来ない箇所	
<b>17 交通量</b>		
1	周辺道路の通行量（歩行者、自転車、自動車）	○
2	東西方向の自動車交通量（その小型、普通、大型別も）	
3	道路の自転車通行量の現状把握。2	
<b>18 事故の履歴</b>		
1	自動車事故の履歴	○
<b>19 道路計画の諸規定</b>		
1	小型車、普通車、大型車の車幅（最大）	
2	救急車、消防車、はしご車の車幅	
3	道路、幹線道路、市街地道路に対する考え方	
4	4級道路の車幅の規定資料	
5	道路の設計を行う際の諸条件（道路構造令、道路の移動円滑化整備ガイドライン等）の資料	
6	道路整備において必要な幅員根拠資料	
<b>20 道路拡幅の検討</b>		
1	道路を拡張するメリットデメリット	
<b>21 道路検討の課題と経緯</b>		
1	現状から導き出された課題	
2	道路計画の検討過程（一方通行案と対面通行案のメリットデメリット等）に関する資料	
3	大型車侵入禁止、車幅制限をする際の障害、問題点	
4	車両速度を抑制させる手立ての選択肢	
5	道路拡張をした場合に考えられる、車両通行量の変化と影響	

構成	現状に関わる資料として求められているもの（91項目） ○済/△一部済/●確認（未保管）	収集 状況
<b>22 一方通行化に関すること</b>		
1	一方通行化の議論に必要な資料	
2	一方通行化によるメリット、デメリット	
3	一方通行化する際の検討過程に関する資料	
4	一方通行化による通行車両のスピード危険軽減策	
<b>23 相互通行に関すること</b>		
1	相互通行のメリットデメリット	
2	相互通行化する際の検討過程に関する資料	
3	公園を挟んだ二本の道を1本の道と位置付ける時の障害、問題点	
4	公園を挟んだ4車線を2車線に変更する際の法的手続き（障害と問題点）	
5	道路拡幅計画の現在の計画にいたるまでの経緯資料	
<b>24 バスの計画</b>		
1	バス等の公共交通機関の充実計画	×
2	バス路線の構想の有無（構想の明示）	×
<b>25 土壌汚染の把握</b>		
1	現状の土壌汚染調査結果	●
<b>26 汚染対応</b>		
1	法的には土壌を掘り出さなければそのまま良いのか	●
<b>27 由来の想定</b>		
1	鉛の由来（江東区の見解）	×
<b>28 防災の機能</b>		
1	緑地帯（公園）の防災機能	○
2	江東区の緑に対する防災上の考え方・計画（広さ、樹種等）	○
3	防災計画における仙台堀川公園の役割	○
<b>29 防火の機能</b>		
1	緑の防火効果（樹種、ガイドライン）	○
2	延焼防止帯としての役割	○
<b>30 避難路としての機能</b>		
1	避難路として役割	○
3みずのあり方		
<b>1 護岸の現況評価と撤去に関する検討</b>		
1	護岸の機能・役割	土留
2	護岸撤去のメリットとデメリット	○
3	護岸の撤去に関する賛否の資料	●
4	護岸による見通し不良箇所の現況	×
5	護岸の一部残置案の可能性	×
<b>2 生物の把握と判断</b>		
1	公園の生物調査（生物指標・生物の推移・生態系）（区内公園との比較）	○
2	現在実施している生物調査の途中経過（鳥類特にカモ、ツミに対する）	
3	外来種（アメリカザリガニ、ミシシippiaアカミミガメ、ウシガエル、ブルーギル等）に対する生態系管理からの区（国）の考えと計画	
4	淡水の流れに棲息する生物種予想（現状との差異）	
<b>3 生物多様性の考え方</b>		
1	生物多様性、エコロジカルネットワークに関する資料	
2	生物多様性の現況と計画目標（江東区、各区域）	
3	生物多様性の評価に対する住民意見	
4	生物多様性の環境づくりの選択肢	
5	環境への配慮考慮調査	

構成	現状に関わる資料として求められているもの（91項目） ○済/△一部済/●確認（未保管）	収集 状況
<b>4 生息環境づくり</b>		
1	水路における生物への配慮資料	
2	暗渠化の水生生物に対する影響予想	
3	対象地で棲息を期待することのできる水鳥を初めとした生きものたちのデータ	
4	鳥類特にカモ、ツミに対する配慮資料	
5	暗渠化と水路との対比データ	
6	豎川河川敷公園との対比	
<b>5 八つ橋の環境</b>		
1	八橋の池が作られた経緯	×
2	八つ橋の池が干上がった経緯と修復の可能性	×
<b>6 導入水の検討</b>		
1	対象地で選択することのできる原水とそれぞれの特徴、楽しみ方、必要経費	×
2	付近の地下水位の高さ	○
<b>7 雨水排水の機能</b>		
1	水路の雨水排水（治水）機能	○
<b>8 水質の確保</b>		
1	平成28年度水質調査結果と考慮資料	○
2	環境基準に応じる浄化計画（環境基本方針）	○
<b>9 水景観に関すること</b>		
1	水環境の景観への配所資料	○
<b>10 こどもにとっての水環境</b>		
1	子供たちと自然との触れあいの取り上げかた（江東区教育計画？）	×
2	こども達が自然環境にふれることのできる機会（水生生物との出会い）をつくるための条件	×
3	子どもたちが手を触れる環境（仕組み・仕掛け）	○
4みどりのあり方		
<b>1 樹木・樹林の保全</b>		
1	計画区域のみどりについて寄せられている苦情や希望一覧	○
2	緑が多いことのメリットデメリット	
3	樹木の健康度や寿命（大径木の扱い、土の確保）	
4	樹木と公園利用との共存課題（生育の確保、木の根による凹凸、アレルギー性の種類等々）	
5	緑の種類と健康度（把握方法、整備前後の比較：将来に向けた課題）	
6	緑の分布（樹木リスト、位置図、樹冠投影図）	○
7	緑の量（測定方法、整備前後の比較：植樹面積・本数・それとも？）	
<b>2 移植と伐採の課題</b>		
1	本計画での伐採想定、移植想定、新植浸食想定（工法の見込み：費用、実効性）	○
<b>3 陸域鳥類環境の保全</b>		
1	生物の生息分布と希少性、保護に必要な環境等（国・都・23区内レベル、繁殖状況、わかりやすい解説の必要）	
2	来訪する鳥類の種類と本公園内の緑（必要な環境）の関係	△
3	仙台堀川公園ができる以前には存在していなかった鳥類の生育環境（ツミやカモの繁殖状況、何年前から？毎年？巣立ち個体数など）	
4	現計画で影響を受ける鳥類等	
<b>4 公園としての価値</b>		
1	本公園の機能・位置づけ（過去の計画時、当時のコンセプト、現在の位置づけ、地域における価値）	○
2	仙台堀川公園の「緑の現状」に対する共通認識	
3	豊かな緑陰と樹木帯（樹木、土、堀川）の吸熱効果と本計画による影響予測	×
<b>5 面積削減の課題</b>		
1	道路整備のために公園面積を削減する理由（共有されている認識の整理）	○
2	公園を削減するメリットデメリット（検討の経緯・会議録・資料、居住の利便性、自然環境保全性など）	×
3	公園面積を削らないパターンの計画図	●
4	23区内で公園を削り道路を広げた事例（30年以内のデータ）	×
<b>6 アクセス・周辺環境の課題</b>		
1	出入り口の設定検討（アクセス確保の考え方、安全確保への考え方：特に六砂小学校と亀高公園付近）	

構成	現状に関わる資料として求められているもの（91項目） ○済/△一部済/●確認（未保管）	収集 状況
5施設設備		
1 広場の整備		
1	広場活用の想定（町会主催の盆踊り大会地区、まつりの開催、イベントの実施、高齢者の健康増進目的のためのスポーツなど）	
2	広場面積の現況値と計画値	
3	土にふれることのできる価値への考え方（土を感じることでできる場所を創る、効果を維持するための施策など）	
2 明るさの検討		
1	照度の現況と計画（顔がはっきりわかるくらいの明るさや夜に歩くために最低限必要な明るさなど照度基準、基準適用範囲は園路と広場の照度分布図、照度確保のシステム：演出照明はタイマー制御など）	計画のみ○
3 照明灯の灯具と運用の検討		
1	ソーラー照明の実用性（充電できる日照の可能性、曇天時にも点灯するための結線、導入コストの妥当性）	○
4 土俵の存続		
1	土俵存続の考え方（近くに相撲部屋：貴乃花部屋が移転、地区祭りへの力士の参加依頼）	○
2	現在の利用状況（イベントのほか日常での利用）と公園内にある必要性	○
5 配置と整備		
1	区の公衆トイレ整備方針、配置の現況と計画（隣接公園との連絡路：横断歩道等での誘致）	○
2	トイレ整備計画（魅力のあるトイレづくり）	○
6 利用意向の検討		
1	公園のトイレへの評価（とてもイメージが悪く、なるべくなら利用したくない）	
7 システムの基本的な理解		
1	無電柱化（電線共同溝整備）のガイドライン（地上機器/配管/配線）、導入条件、一般的な事業の進め方、	
2	導入検討の選択肢（ルートなど重要施設の考え方、トランスの設置位置の選択の幅、新世代型である柱上機器の紹介など）	
8 本計画での導入検討		
1	導入計画内容の判りやすい図示（数量、必要面積、工事費用、民地側の費用負担等）	
2	植樹帯の計画主旨（地上機器の配置は2次的、道路と公園の分断感解消が主目的？）	
3	災害時の避難路確保の必要性（国の方針、南北の亜幹線の位置付け、災害時の倒壊の周辺への影響、景観への意識の確認）	
4	無電柱化（電線共同溝整備）のメリットデメリット（メンテナンス手間：交通規制、騒音、復旧時の現況比較としての困難性、水害時想定水位、水が引かな時の復旧想定、桜井ポンプ場の電源確保、非常用電源の有無）	
5	熊本地震における地上電線が切れた割合と地下ケーブルが切れた割合の例示	
6公園活用		
1 四季を楽しむ		
1	四季を楽しむ考え方（植栽配置図、花カレンダーワークショップか幹事会で作成）	
2 サクラを愛でる		
1	サクラに関わる区民意向	○
2	サクラの現況（植栽位置図、1本1本の樹勢診断結果）	○
3	サクラ祭りの現況と将来像（来場者、将来の開催イメージ）	
4	サクラの活力向上策（生育の確保への選択肢など）	
3 ペットと共に過ごす		
1	ドッグランの整備および運用にかかるコスト	
2	ドッグランの導入事例（本設仮設）とメリットデメリット	
3	ペットの利用状況（ペット散歩、スポーツなどの実態、幹事会で現地調査？）	
4 生きものとふれあう		
1	子供の水遊び、子供の生きものふれあい体験、生物多様性に応じる環境づくりへの選択肢	×
2	釣り場、生物学習など生物に親しめるの機能を残すことができるかどうかの資料	○
3	水の環境に関わる方々や団体の今後の活用イメージ	

構成	現状に関わる資料として求められているもの（91項目） ○済/△一部済/●確認（未保管）	収集状況
5	<b>金魚・どじょうつかみを盛り上げる</b>	
1	金魚どじょうつかみの参加者数	
2	どじょうつかみ（区民まつり）での水路や池の使用状況確認	
6	<b>盆踊りを盛り上げる</b>	
1	盆踊りの参加者数	
2	盆踊りができる広さを有する広場の現況と計画	
7	<b>健康づくりをする</b>	
1	ラジオ体操の参加者数、参加者属性	
2	健康遊具の現況と利用状況	
8	<b>喫煙場所を限る</b>	
1	公共空間での喫煙に対する区の方針	○
9	<b>利用実態</b>	
1	利用者属性（年齢、性別、居住地域等）	
2	利用行動（利用者層、時間帯、滞留時間、通行、休息、遊戯、スポーツ、施設別状況：壁当て広場、ゲートボール場、その他イベント利用も含む）	○
3	施設別の利用数	△
4	使用状況に応じる必要スペース（現況面積、計画面積）	●
10	<b>イベント開催</b>	
1	イベントの現況と将来計画（開催概要、回数、時期、開催場所：清州橋通り側一か所と、小名木川寄りに一か所計二か所は確保し継続したい）	
2	毎年区民祭りの地区行事として、子供だけでも500名位の参加のもと実施されている。子供の頃の思い出の一つとして継続したい。	
3	広範囲の公園を散歩しても、休憩してお茶を飲むところもないので、区が管理する喫茶店でコーヒーなどが飲めると、仙台堀川公園を訪れる、家族や若いカップルもふえると思う。ヨーロッパの公園の中には必ずコーヒーショップがある。	
4	現状としてあまり良い状態ではないですが、実際の現場を見ながらでないと、意味ある議論にならないと思います。	
7管理運営		
1	<b>管理方針</b>	
1	維持管理計画（現況と計画）	
2	<b>区民要望・苦情</b>	
1	苦情要望のデータ（内容、件数、発言者、どのように対応したか）	○
3	<b>落ち葉への対応</b>	
1	落ち葉の問題など、近隣の方々が迷惑していることの有無と内容10	○
4	<b>啓発への取り組み</b>	
1	利用者マナー啓発の仕方	×
5	<b>音の発生について</b>	
1	騒音の実態把握、苦情の概要と手立て（音量の把握、マナー啓発の仕方、ラジオ体操・壁当て・騒音など）	△
6	<b>看板・標識の設置</b>	
1	看板標識の設置（場所、話題内容、記事、デザイン、効果）	○
7	<b>維持管理事項と費用</b>	
1	維持管理・利用管理のための費用の全体像・明細（現況と計画での見込み）	●
2	導入する水による費用の違い（真水：工業用水、河川水、濾過した河川水）	○
8	<b>管理体制</b>	
1	管理方法・体制・エリア区分等の現況と計画	△
2	区民や各種団体による公園愛護活動（現況と将来像）	
9	<b>管理課題</b>	
1	水路清掃の現況と課題	×
2	大変広い（広範囲にわたっている）ことによる管理運営課題	×
10	<b>防犯への方針</b>	
1	公園の防犯対策について方針	×